

【別紙1】令和5年度 環境基本計画 環境指標の進捗状況

基本目標	施策の方向性		環境指標	現況値 (計画時)	目標値 (達成年度)	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和5年度の 取組内容	前年度実績 との比較	指標の 進捗状況
1 市の自然豊かな環境の後世への継承	1 緑豊かな山々と美しい水辺のある自然との共生	1 森林環境の保全	間伐等実施面積	183.7ha (令和元年度)	320ha (令和12年度)	213.5ha	147.17ha	適期適地森林での間伐施業を支援することにより、森林の多面的機能の保全と人工林における林分育成の向上を図っているが、間伐面積は昨年度より減少した。	66.33ha 減	後退
			防除区域内松くい虫被害木処理量	20.67m ³ (令和元年度)	20.00m ³ (令和12年度)	161.10m ³	175.12m ³	・有人ヘリ散布(山北・神林地区) A=74.52ha ・無人ヘリ散布(神林地区) A=10.03ha ・ドローン散布(山北・神林・村上地区) A=35.9ha ・伐倒くん蒸 V=175.12m ³ 昨年度同様に被害区域の調査と駆除、防除作業を行い、被害量の抑制を図ったが、昨年度に比べ被害木体積は増加した。	14.02m ³ 増	後退
		5 野生鳥獣保護と鳥獣被害対策の両立	有害鳥獣による被害面積	11.33ha (令和元年度)	10ha (令和12年度)	6.56ha	6.00ha	R5電気柵 44集落、166箇所設置 電気柵設置済圃場における農作物被害はほぼ抑制された。未設置個所については被害が出ているため、今後も電気柵の整備、駆除事業を実施していく。また、イノシシによる被害が増加しているため、今後も重点的にイノシシ用電気柵の設置を継続する。	0.56ha 減	目標達成
			有害鳥獣による人的被害件数	1件 (令和元年度)	0件 (毎年)	0件	0件	クマによる被害防止のため、新潟県で発表した「クマ出没警戒注意報」「クマ出没警戒警報」「クマ出没特別警報」の各ステージにあわせ、市民へメール・防災行政無線・市報・パトロール等で周知、警戒を実施し、人身被害は発生しなかった。	被害なし継続	目標達成
2 持続可能な循環共生型の社会	1 良好な生活環境の保全	1 快適な大気環境の保全	光化学スモッグ注意報発令件数	0件 (令和元年度)	0件 (毎年)	0件	0件	注意報の発令はなく、大気汚染の進行は見られなかった。 毎年県と情報伝達訓練を行うなど、発令された場合の対応体制は整っている。	発令なし継続	目標達成
		2 快適な水環境の保全	河川水環境基準達成率(BOD等)	100% (令和元年度)	100% (毎年)	100%	100%	年2回、下水処理場からの放流水や河川等公共用水域の水質検査を実施。放流水においては、BOD等の基準が適合と認められた。	増減なし	目標達成
			水洗化率(公共下水道・特定環境保全公共下水道)	72.3% (令和2年度)	82% (令和12年度)	76.2%	76.8%	市報、下水道フェアによる啓発のほか、未接続者宅への戸別訪問(3町内182件)を実施。また費用面において排水設備等設置資金貸付や住宅リフォーム補助金による支援を実施し、下水道の新規接続を呼び掛けた。	0.6% 増	前進
			水洗化率(農業集落排水施設)	85% (令和2年度)	95% (令和12年度)	88.1%	88.4%	市報、下水道フェアによる啓発のほか、費用面において排水設備等設置資金貸付や住宅リフォーム補助金による支援を実施し、下水道の新規接続を呼び掛けた。	0.3% 増	前進

基本目標	施策の方向性		環境指標	現況値 (計画時)	目標値 (達成年度)	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和5年度の 取組内容	前年度実績 との比較	指標の 進捗状況
2 持続可能な循環共生型の社会	1 良好な生活環境の保全	2 快適な水環境の保全	合併処理浄化槽普及率	86.7% (令和2年度)	94% (令和12年度)	85.1%	84.8%	設置費補助及び維持管理費補助を行った。また設置費補助は1件の実績があり普及を進めた。 ※しかし、空き家が増えて浄化槽世帯の減少率が大いいため普及率は減少している。	0.3% 減	後退
		3 安全・安心な環境の保全	新たな土壌・地下水汚染発生件数	0件 (令和元年度)	0件 (毎年)	0件	2件	2件検出されたが、市は住民に対して井戸水の飲用抑制のチラシを配布。新潟県が実施した周辺の地下水調査では汚染は確認されなかった。また、新潟県新発田環境センターと情報を共有しながら、対応に努めた。	2件 増	後退
			化学物質による環境汚染事故の発生件数	0件 (平成22年度)	0件 (平成32年度)	0件	0件	新たな汚染は発生しなかった。県と連携した対応体制は整っている。	発生なし継続	目標達成
		4 その他の環境の保全	公害苦情件数(騒音、振動、悪臭)	11件 (令和元年度)	5件 (令和12年度)	5件	4件	市民から苦情の連絡を受けて現地確認等を行い適時対応した。 目標値は達成している。(内訳)悪臭:4件	1件 減	目標達成
	2 資源循環型社会の構築	1 5Rの推進	1人1日あたりのごみ排出量	769.8g/人・日 (令和元年度)	746g/人・日 (令和12年度)	746g/人・日	710g/人・日	計画に基づき事業を実施し、数値は前年度より減少した。住民の分別の意識が高まり、ごみが減少しているのではと考えられる。	36g/人・日 減	目標達成
			リサイクル率	21.0% (令和元年度)	28% (令和12年度)	17.1%	14.2%	計画に基づき事業を実施したが、数値は前年度より減少した。減少の一因として資源化焼却主灰の資源化量が減少したことが考えられる。	2.9% 減	後退
			最終処分量	802t/年 (令和元年度)	725t/年 (令和12年度)	775t/年	627t/年	計画に基づき事業を実施し、数値は昨年度より減少した。一因として、ごみの焼却される量が減少していることが考えられる。	148t/年 減	目標達成
		2 適正な処理・処分の推進	不法投棄・野焼き件数	20件 (令和元年度)	10件 (令和12年度)	3件	2件	事案が発生した際には現場確認を行い、原因者が判明してる場合は指導を行った。 結果的に目標を達成した。	1件 減	目標達成
	3 環境保全型の持続可能な農林水産業の促進	1 環境に配慮した農林水産業の推進	にいがたグリーン・ツーリズム(農家民宿、直売所、農家レストラン)の登録件数	10件 (令和元年度)	10件以上 (令和12年度)	11件	11件	地域内に存在する多様な資源を組み合わせ、グリーン・ツーリズムを核とした各種ツアー・イベントの企画・実施やグリーン・ツーリズムに関わる人材育成、資源開発等、モデルプランの作成を行った。	増減なし	目標達成
		2 持続可能な農林水産資源利用の推進	認定農業者登録件数	423人 (令和元年度)	450人 (令和12年度)	345人	348人	更新者については、認定農業者を継続できるように、農業経営改善計画の見直し等の指導を実施。新規の認定農業者については、農業経営改善計画を達成できるよう作成指導を実施した。	3人 増	前進
3 地球規模の気候変動等を意識した環境対策の展開	1 省エネルギーの推進	1 省エネルギー活動の推進	市民1人あたりエネルギー使用量	105GJ/人 (平成30年度)	105GJ/人 (令和12年度)	82GJ/人 (令和2年度)	82GJ/人 (令和3年度)	環境フェスタ村上2023を実施し、省エネ推進やごみ排出量削減の普及啓発に努めた。	増減なし	目標達成
	2 再生可能エネルギー等の利用促進	2 再生可能エネルギー機器の普及	市内における再生可能エネルギー発電設備の発電出力	95MW (平成30年度)	130MW (令和12年度)	95.9MW	96.0MW	住宅用太陽光設備設置費補助金を継続した他、東京理科大と再エネの最大限導入による脱炭素計画づくりを実施した。	0.1MW 増	前進

基本目標	施策の方向性		環境指標	現況値 (計画時)	目標値 (達成年度)	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和5年度の 取組内容	前年度実績 との比較	指標の 進捗状況
3 地球規模の 気候変動等を 意識した環境 対策の展開	3 温室効果ガス 排出量の削減	1 温室効果ガス 排出量の削減	市内の温室効果ガス排出量	577千t-CO2 (平成29年度)	477千t-CO2 (令和12年度)	491千t-CO2 (令和2年度)	438千t-CO2 (令和3年度)	全体としては減少傾向。エネルギー起源CO2は家庭部門、産業部門は削減が進んでいる。	53千t-CO2 減	目標達成
			市有施設等の温室効果ガス排出量	26.1千t-CO2 (令和元年度)	22.3千t-CO2 (令和12年度)	25.5千t-CO2	23.2千t-CO2	市有施設における省エネの継続的な推進、EVや再生可能エネルギー設備の導入、ごみ(プラスチック類)の減量推進を図ったため、削減が進んでいる。	2.3千t-CO2 減	前進
	4 気候変動の 影響への適 応	2 気候変動によ る影響への対 応	熱中症患者発生件数	91件 (令和元年度)	50件 (令和12年度)	42件	69件	従来の活動に加え、熱中症予防シェルターを市内に設置するなど取り組んだが、かつてない猛暑で搬送者が増加した。	27件 増	後退
4 歴史・伝統と 美しい自然を 活かした景観 づくり	1 美しい田園、 里山、海岸景 観の保全	2 自然景観資 源の保全活 動の推進	クリーン作戦や一斉清掃の実施回数	83回 (令和元年度)	80回以上 (毎年)	171回	96回	令和4年度より減少はしているが、コロナが5類に移行され実施回数はコロナ禍より増えて目標値は達成している。	75件 減	目標達成
	2 歴史ある町並 みや景観の 保全	2 歴史文化資 源の保存活 動の推進	伝統行事支援事業の実施件数	5件 (令和元年度)	50件/10年 (5件/年)	14件 (累計17件)	12件 (累計29件)	村上祭、瀬波祭、岩船祭、七夕祭り、山北浜新保に対し支援を実施した。	2件 減	前進
5 市民や産業と ともに発展す る環境づくり	1 環境意識の 向上	2 環境学習等 の促進	環境学習イベント後の満足度(アンケート)	-	50% (令和12年度)	-	74%	環境フェスタ村上2023に実施したアンケート内で来年も参加したいと回答いただいた割合。(225人/304人)	(比較対象外)	前進
	2 環境活動の 推進	1 環境保全活 動への参加 の促進	環境フェスタ参加団体数	12件 (平成30年度)	100件/10年 (10件/年)	-	17件 (累計17件)	令和5年10月21日に環境フェスタ村上を5年ぶりに開催し、17団体に参加していただいた。	(比較対象外)	前進
	3 ネットワーク の形成	1 地域内のネッ トワーク形成 の推進	クラインガルテン利用者数	639人/年 (令和元年度)	600人/年 (令和12年度)	487人/年	548人/年	コロナ禍の影響もなく、栽培講習会をはじめ、納涼祭や収穫祭、視察研修会など、計画どおり行ったほか、地元施設利用者を中心にサポーターの指導のもと、積極的な交流を図ることができた。	61人/年 増	前進